

日 時：平成28年11月29日（火）
9時45分～10時30分

場 所：北1病棟 103号室・105号室
107号室

指導者：藤田 智子（T1） 小松 百子（T2）
土田 奈緒（T3） 高橋 成暢（T4）

1 題材名 「朝の活動・朝の会」

2 目 標

- （1）登校準備を通して学校の始まりを意識し、学校への期待感をもつ。
- （2）自分の得意な動きを生かしながら返事や係活動に取り組む。
- （3）友達や教師の様子に関心をもって視線を向けたり、働きかけに気付いて自分の気持ちを表情等で表したりする。

3 生徒と題材

（1）生徒について

本グループは、中学部2年男子1名、高等部1年女子1名、高等部2年女子1名、高等部3年男子1名の計4名である。全員が独立行政法人国立病院機構あきた病院の重症心身障害児（者）病棟に長期入院しており、この内1名は過年度卒業生である。4名共に吸引等の処置のため学習場所に制限があり、その内の2名は通常の学習は病棟内、2名は仰臥位で人工呼吸器を使用し、自室での学習を行っている。4名共に体調を崩すと長期欠席が続き、体調が安定しても病棟内での活動ができるまでに時間を要する。

身近な教師からの関わりを受け入れ、落ち着いた気持ちで学習活動に取り組んでいる。また、聴覚や視覚等それぞれの得意な感覚が違うため、自室での朝の会では、iPad中継やトランシーバー等を活用できる環境を整えると、集団のにぎやかな雰囲気を感じて笑顔になったり体を動かしたり、友達の姿を見ようと視線を動かしたりするようになってきた。

（2）題材について

本題材は教師と一対一で個別に行う朝の活動と、集団で行う朝の会に分かれている。前半の朝の活動では、個々の課題に沿った活動内容を設定しており、教師とじっくりと関わったり、可能なときは友達と挨拶を交わしたりしながら一日の始まりに気付き、気持ちや体調の安定を図って次時の活動へ参加する意欲や期待感を高めることをねらいとしている。後半の朝の会は、体調面からくる行動制限等により全員が一カ所に集まることはできないものの、iPad中継やトランシーバーを通して離れている友達や先生の実在に気付いたり、通信機器を通じた働きかけに応えたりする生徒の姿を目指していきたい。毎日行うこと、生徒の得意な動きを活動のなかに取り入れることで、「次は誰かな?」「もっとやってみたい」などの期待感や要求を高め、体や視線の動き、表情の変化で教師に伝えられるようにしていきたい。離れている生徒にも情報が伝わりやすいように通信機器の使い方や教師の話方を工夫し、生徒の興味・関心のある「歌」や「音」をそれぞれの活動に用いることで、学習場所に制限がある4名の生徒が人と関わる楽しさや集団での学びを積み重ねてほしいと願い、本題材を設定した。

（3）指導に当たって

- ・毎日、朝の会の場所や参加人数が変わるため、見通しをもち意欲的に活動に取り組むことができるように、活動内容や順番を変えずに繰り返し行う。欠席者がいた場合は、朝の会が滞らないように教師が代役を務めながら一緒に活動する。
- ・主治医から病棟内移動の許可がおりた生徒は、できる範囲で友達の近くに行き、お互いを感じとれるような働きかけを教師が行う。但し、感染を防ぐため、物の受け渡しは控える。
- ・生徒の表情の変化や体の動きを自己表現と認め、「素敵」「上手」などの言葉掛けやスキンシップをして称賛し、教師がその様子を他の生徒に伝える場面を設ける。
- ・集団の中で個人の存在を意識できるように、個人が特定できる「音」を決め、生徒と一緒に鳴らしてから活動する。
- ・天気イメージをもつことができるように、個々の生徒の興味・関心、得意な感覚に応じた教材（温めた保冷剤、LEDライト、羊毛フェルト、霧吹きでの水滴等）を用意する。雨に見立てた水滴は触れる場所や水滴の量に気を付けながら行う。

4 指導計画

・「朝の活動・朝の会」（年間を通して実施）・・・総時数 175 時間（本時 129 / 175）

朝の活動	朝の会	担 当
・健康観察 ・病棟内、自室での挨拶 ・顔や手の清拭、マッサージ 身だしなみ ・今日の日にかや天気、予定の 確認	・始まりの号令 ・始まりの歌 ・天気 ・名前を呼ぼう ・今日の歌 ・終わりの号令	【合図】 ・号令（B） ・始まりの歌（A） ・天気（C） ・今日の歌（D）
※いくつかを組み合わせる行う		

5 本時の計画

（1）本時のねらい

- ①挨拶や呼びかけを通して学校の始まりに期待感をもつ。
- ②通信機器を通した働きかけを感じ取り、活動に取り組もうとする。
- ③友達や教師の様子に関心をもって音や映像に集中し、自分の気持ちを表情等で表す。

（2）個別の実態及びねらい

生徒 学年・性別	実 態	ねらい
A 中 2 ・ 男	・友達や身近な教師との学習を楽しみにしており、名前を呼ばれると口や腕を動かしたり、まばたきをしたりして応じる。 ・教師の言葉掛けを聞いて、両腕を動かす動作や笑顔で楽しい気持ちを表す。	①友達や教師からの挨拶を聞いて、笑顔で楽しい気持ちを表す。 ②呼名には、口や腕の動き等の体の動きや発声で応える。 ③友達の様子を伝える教師の言葉を聞いて、自分から両腕を動かして鈴を鳴らして応える。
B 高 1 ・ 女	・周囲の状況は主に聴覚で把握している。慣れない音や状況には不安な表情で目をせわしなく動かすことが多いが、糸電話の震動を伴う呼びかけやトランシーバーの明瞭な音声に慣れ、関心をもって聞くことが増えてきた。 ・名前や歌、周囲からの言葉掛けに気付き、眼球や口を動かして応じる。	①糸電話やトランシーバーを使った呼びかけを熱心に聞き、関心を示す。 ②自分の名前が呼ばれたことに気付き目や口を動かして応える。 ③朝の歌の場面で口を動かしたり、友達の様子を伝える教師の言葉掛けに目や口を動かしたりして気持ちを表す。
C 高 2 ・ 女	・身近な友達や教師の顔や声を覚え、会うと表情が和らいだり、笑顔を見せたりする。 ・友達や教師の挨拶や言葉掛けに対して、指や目の動きで応える。	①顔拭きや朝の挨拶を通して学校の始まりを意識する。 ②呼名や合図に気付き、指や目の動き、表情の変化で応える。 ③楽器の音の合図や教師の言葉掛けを受け、スイッチを操作して天気を発表する。
D 高 3 ・ 男	・病室に迎えにいくとぼんやりしていることが多く、覚醒していても日によって表情の変化が少なかったり、手の動きがほとんど見られなかったりすることがある。 ・声を掛けられたり、足音など人が近づく気配を感じたりすると、その方向に顔を向けたり目を大きく見開いたりして注意を向ける。音の変化に敏感で、聞き分けている。 ・教師の言葉掛けや友達の働きかけに対して、表情を変えたり手や口を動かしたりして気持ちを表す。	①「今日の歌」の曲を選びながら、顔や手の清拭や友達や教師とのコミュニケーションを通して覚醒し、学校の始まりを意識する。 ②教師の問い掛けや流れる曲に、手や口等を動かして気持ちを表し、「今日の歌」の選曲をする。 ③通信機器や病室での教師や友達の挨拶や呼びかけに気付き、顔や目を向けたり、手や口等の動きで応えたりする。

学 習 活 動		指導の手立て及び留意点				準備物
時間 2 5 分	1 登校準備をする。 ・健康観察 ・病棟内、自室での挨拶 ・顔や手の清拭 ・マッサージ ・身だしなみ ・今日の日にちや天気、予定の確認 ・係活動準備	A【T 1】	B【T 2】	C【T 3】（自室）	D【T 4】（自室）	・タオル ・糸電話 ・ゴムひも
		- 友達や教師と関わり集団のにぎやかさを感じ取れるように、部屋を行き来できるときには、ベットのそばで挨拶を交わしたり糸電話で教師が言葉を掛けたりする。 - 友達の顔をよく見たり、教師の声をよく聞いたりできるように、iPadの高さや向きを調整する。				
		- 教師が挨拶に来たことが分かるように、体に触れてから「おはようございます。」と言葉掛けをする。 - 学校の始まりを意識し、リラックスできるように泡洗顔をする。	- 心地よく学校の始まりを意識できるように、拭く部位を告げながら温かいタオルで顔を拭いていく。 - 移動可能な日には、楽しく体と音声で相手を意識できるように、友達とゴムひもを引き合う遊びを取り入れたり、教師も入って糸電話で挨拶したりする。	- 友達の来室や教師の挨拶や呼びかけ等に気付けるように、テレビを消す等、音を精選する。また、気付かないときは適宜言葉を掛ける。 - 係活動（今日の天気）の準備として、教師が撮影した天気の様子をiPadの画面で見て、天気を選ぶ時間を設定する。	- 友達が入室可能な日には、楽しく体と音声で相手を意識できるように、ゴムひもを使ってお互い引き合う遊びを取り入れる。また、教師も入って糸電話で挨拶をしあう。 - 係活動（今日の歌）の準備で、11月のCDを再生し、「この曲はどうですか。」などの言葉を掛け、表情の変化や手の動きを引き出し、曲を選ぶ。	
2 0 分	2 朝の会を行う（司会：A）	- 毎日、出席者やその体調に合わせて学習場所を決める。また個々の得意な感覚に合わせてiPadとトランシーバーを選択したり組み合わせたりして使用する。また、会の途中で発作等がおき、体調が優れないときには、休憩することを伝え、音声を切って静かに見守る。 - 朝の会の流れに見通しをもったり、自分の係に集中したりできるように、欠席者の係活動は欠席した生徒の支援に当たっている教師が代役をしながら参加する。 - 活動内容によって当番や係が部屋を行き来できる場合でも、感染防止のために生徒同士が直接触れ合うことは避ける。 ①～⑥系の活動の前に、個人を特定できるように教師と一緒に自分の「音」を鳴らしてから行う。 ①～⑥当番や係活動では、友達を意識できるように、移動可能な日はBがCやDの部屋へ移動してベッドのそばで活動する場面を設ける。				- iPad - ルーター - トランシーバー - ワイヤレスマイク - 強力クリップ - CDラジカセ - CD - キーボード - スイッチ教材 - 鈴 - ギロ - 保冷剤 - 羊毛フェルト - 霧吹き - 水 - 湯 - タオル
	①始まりの号令（B）	歌の始まりの合図の鈴を鳴らせるように、教師が「合図を出すよ。」と話し掛けたり、体に触れたりしながら腕の動きを促す。	号令を掛けることを意識できるように、T2が「号令をかけます。いいですか。」と告げる。Bが口を動かしたら応答をとらえ、一緒に鍵盤を押す。	友達への言葉掛けを応援するような動きをした場合は、場に合った言葉を添える。	友達のキーボードや鈴の音に対して、手や口の動きなどがあった場合、教師が気持ち代弁して友達に伝える。	
	②始まりの歌（A）					
	③天気（C）	③天気をイメージしやすいように、じっくりと手の平で触れて温度や柔らかさ等を感じられるような教材を提示する。 ④友達の様子が伝わるように、トランシーバー等を通じて生徒の表出を教師が言葉で伝え合う。				
	晴れ～温めた保冷剤 曇～羊毛フェルト 雨～霧吹き、水	- 当番活動を進行する中で、「〇〇さんと呼ばうね。元気かな。」等と言葉を掛け、腕を動かし、鈴の音が鳴るのを待ってから生徒と一緒に進める。 - 呼名では、自分の名前を呼ばれることが分かるように、肩を触って予告する。また、返事のときには、しばらく待ち、応答がない場合はあごや口元を軽く触って促し、口や体の動きを待つ。	- 呼名では、呼ばれることが分かるように、肩に触れて予告する。応答がないときは、体に触れて返事を促す。 - 友達の呼名では、友達をより意識できるように、「〇〇さん、元気だね」などと短い言葉で伝える。	- 天気では、できるだけ生徒の力で操作できるように、親指で動かせるスイッチを準備する。 - 呼名に応えるのを待つ間、動かす可能性のある体の部分をチェックする。名前を呼ばれることが分かり、呼ばれる前に指を動かした場合は「早く呼んで欲しいです。」等の言葉を添える。	呼名に応えるまで静かに待つようにし、時間がかかる場合はもう一度呼名をしたり、体に触れて返事を促したりする。	
	④名前を呼ぼう					
	⑤今日の歌（D）	⑤通信機器の音声を切り、それぞれの部屋でDが選んだCDを聞いて、終了したら通信機器で伝え合う。移動可能な日はBは、Cの部屋に移動する。				
	⑥終わりの号令（B）	今日の歌の雰囲気に合わせて、体に触れたりタッピングしたりする。	号令を掛けることを意識できるように、T2が「号令をかけます。いいですか。」と告げる。Bが口を動かしたら応答をとらえ、一緒に鍵盤を押す。	- 曲を聴いて感動した様子や悲しそうなが見られたら、肩や腕に触れ、落ち着くような言葉を掛ける。 - Bが移動してきたことが分かりやすいように、Bの楽器の音を聴いてからCの楽器を鳴らし「待ってたよ。」等と言葉を掛け合う。	今日の歌では、T4が「選んだ曲を発表していいですか。」と呼びかけ、手や口の動きを待ち、意思を確認してから選んだ曲名を発表する。	

☒ 103号室 105号室 107号室

ナースステーション